

兵庫県内公立病院の経営比較分析表

病院名 たつの市民病院

【基本情報】

2次医療圏域	西播磨				
経営形態	公営企業法財務適用				
病床数 稼働()	一般	120	(120)	高度急性期	0 (0)
	療養	0	(0)	急性期	80 (80)
	結核	0	(0)	回復期	40 (40)
	精神	0	(0)	慢性期	0 (0)
	感染症	0	(0)	合計	120 (120)
合計	120	(120)			

【診療科目】

内科	○	産婦人科	-
精神・神経内科	○	眼科	○
小児科	○	耳鼻いんこう科	-
外科	○	放射線科	-
整形外科	○	歯科・口腔科	○
脳神経外科	○	麻酔科	○
皮膚・泌尿器科	○	その他	-

【医療機能】

救急告示病院	○	人間ドッグ	○
臨床研修病院	-	人工透析	-
がん診療連携拠点病院	-	ICU・CCU	○
感染症指定医療機関	-	NICU・未熟児室	-
へき地医療拠点病院	-	運動機能訓練室	-
災害拠点病院	-	放射線診療	-
地域医療支援病院	-		
特定機能病院	-		
病院群輪番制病院	-		

グラフ凡例



【分 析】

経営分析総括

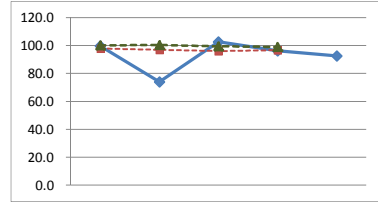
平成28年度に策定する「たつの市民病院新改革プラン」に基づき、「市民に必要な医療の提供」、「地域包括ケアシステムへの貢献」、「健全な経営」を基本方針として、病院運営に取り組みます。

①経営の健全性

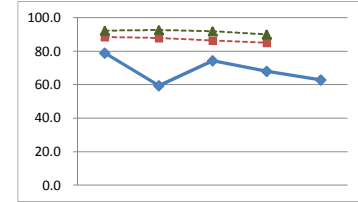
平成24年度は病院の建替えにより、全指標が悪化しています。平成25年度以降は、医師不足により経常収支比率及び医業収支比率が悪化しています。累積欠損金比率は、資本剰余金の処分により平成26年度に大幅に改善しています。平成27年度の医業収支悪化により、資金不足額が増加し、経営が悪化しましたが、平成28年度は医師の採用により医業収支が増加し、資金不足比率は改善傾向にあります。

1 経営の健全性

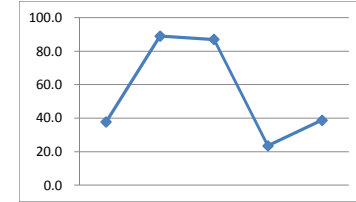
①経常収支比率(%)



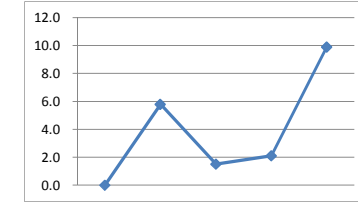
②医業収支比率(%)



③累積欠損金比率(%)

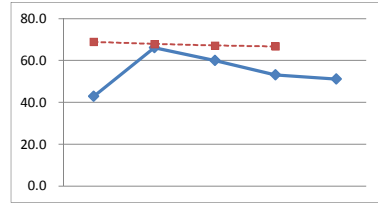


④資金不足比率(%)

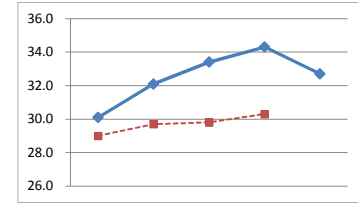


2 収入確保・経費節減

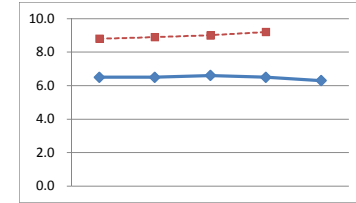
①病床利用率(%)



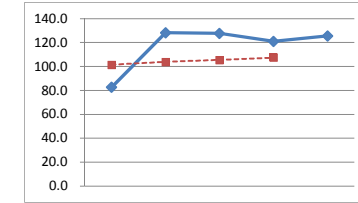
②患者1人1日あたり入院収益(千円)



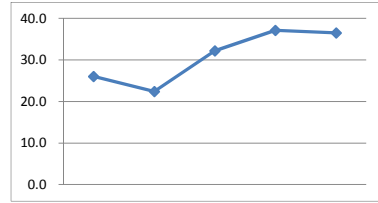
③患者1人1日あたり外来収益(千円)



④病床100床あたり職員数(人)

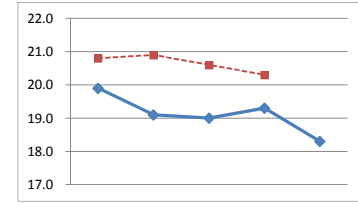


⑤患者紹介率(%)

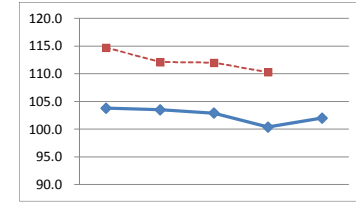


※初診患者に占める文書紹介された患者及び救急搬送された患者の割合

⑥平均在院日数(一般病床)(日)

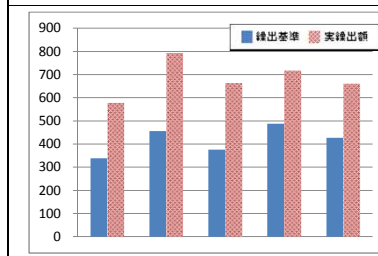


⑦薬品使用効率(%)



※薬品収益/薬品購入原価 (比率が高いほど薬品収支がよい)

3 一般会計等の繰出状況(百万円)



※繰出基準:性質上、病院に対して一般会計等が負担すべき経費(救急、高度医療など)
※実繰出額:病院に対して一般会計等が実際に負担した経費

③一般会計等の繰出状況

救急医療等不採算部門に要する経費については、総務省通知による繰出基準に基づき、一般会計から繰入を行っていますが、収支の悪化により資金不足が見込まれる場合は、基準外繰入を行うこととしています。基準外繰入の解消に努め、健全な経営を目指します。